

令和6年度(令和5年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	福川地区コミュニティセンター「福川会館」			所管課	新南陽総合支所 地域政策課 ☎ 61-4215
所在地	周南市福川三丁目15番26号				
設置年月日	平成14年2月9日				
設置目的	コミュニティの醸成を図り、うるおいのある地域社会づくりを推進する。				
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・構造：S造2階建 ・延床面積：407㎡ ・主な貸館施設：和室、集会室、市民サロン、会議室、音楽室 				
指定管理者	名称	福川会館管理運営協議会			
	代表者	会長 中村 利孝			
	所在地	周南市福川三丁目15番26号			
	連絡先	電話	0834-62-2781	E-mail	fukugawa.k@ccsnet.ne.jp
		ホームページアドレス	http://		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日			年数	5年間
募集方法	非公募		料金制度	利用料金	
指定管理の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの維持管理に関する業務 ・センターの利用許可に関する業務 				

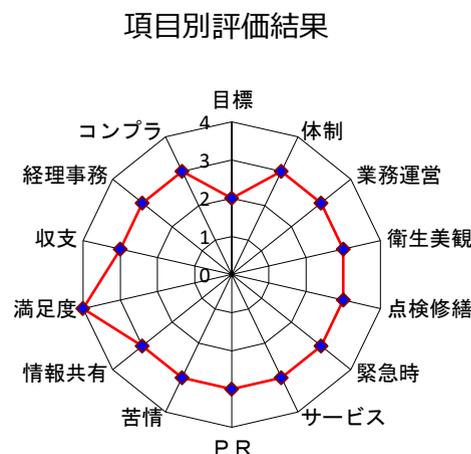
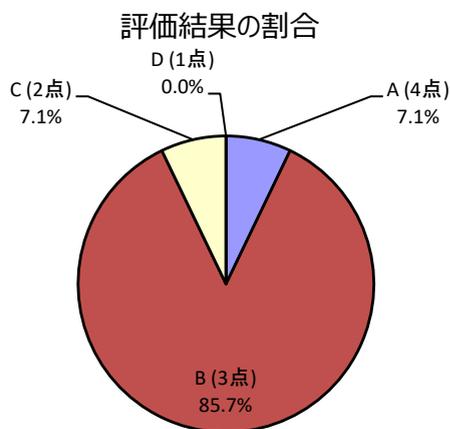
2. 施設の運営状況

目標管理	目標指標名		年度	R5年度	R6年度
	①	利用者数(人)	目標値	13,500	13,500
		実績値	8,767	—	
②		目標値			
		実績値		—	
指定管理業務に係る収支状況	項目		収支計画額(円)	実績額(円)	
	収入	指定管理料	3,725,000	3,395,892	
		利用料金収入	944,000	904,980	
		その他の収入	70,007	117,727	
		計	4,739,007	4,418,599	
	支出	人件費	2,294,000	2,294,000	
		物件費	1,695,603	1,727,083	
		委託料	463,100	449,640	
		その他	90,000	141,135	
		計	4,542,703	4,611,858	
参考	使用料収入				
	自主事業収入				
	自主事業経費				

令和6年度(令和5年度分) 指定管理者評価表【評価】

施設名	福川地区コミュニティセンター「福川会館」	
指定管理者名	福川会館管理運営協議会	
評価項目	評価事項・不適切事項等	評価
目標の達成状況	新型コロナウイルスの影響で減少した利用者数は、制限緩和後、微増している。高齢者の利用が多いため活動控えが戻るには時間がかかり目標の達成には遠いが、利用希望は聞かれるようになり、利用者数の増加が見込める。	C
体制・人事	業務内容に応じた人員配置となっている。	B
業務の運営	施設目的に沿って適切に運営されており、コロナ禍を原因とした利用控えに対して、利用団体に個別に声掛けするなど、利用率の向上に努めている。	B
施設の維持管理(衛生・美観)	原則利用者による清掃であるが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から行っていた共有スペースや階段手すり等の清掃は、制限緩和後も管理人が適宜行うことで衛生管理に努めている。	B
施設の維持管理(点検・修繕等)	管理人による定期的な点検がなされている。	B
緊急時の対応	緊急時の連絡体制を定めたマニュアルを作成し、安全対策に努めている。	B
サービス向上 自主事業	利用料の滞納防止に努めるなど経営改善に向けて取り組んでいる。	B
P R・情報提供	コロナ禍により、例年行われている会館まつり等の活動が自粛されていたが、会館の利用者や役員を通じた利用促進のP Rや、管内ポスター等の掲示を行っている。	B
苦情(要望・意見)への対応	管理人だけでなく、事務局長等役員と連携しながら、迅速な対応に心がけている。	B
情報共有	苦情等に対応した場合は、市にも情報提供が行われている。	B
利用者満足度調査	仕様書等に水準は示していないが、100%に近い利用者が満足している。また、開放的な事務室は利用者の行き来が多く、管理者との距離が近いことで利用者の意見を運営に生かすことができおり満足度は高いといえる。	A
収支状況	指定管理料算定当時は想定していなかった最低賃金の引き上げ、光熱費の高騰、インボイス制度の開始により、令和5年度の支出が増加したことで、単年度決算の範囲では赤字となったが、想定外の支出がなければ持続可能な運営は見込める。	B
経理事務の状況	決算書などの書類を通して、経理事務が適切に行われていることを確認している。	B
コンプライアンス	関係法令に沿って会館運営は適切に行われている。	B
地域住民の利用が多く、気軽に利用できる施設という設置目的に合致した運営がなされ、地域の交流拠点としての役割を果たしている。しかし、駐車スペースが少ないなどの立地条件もあり、地域外の利用者が少ない傾向がある。 ・利用者の多くが高齢者であることから、コロナ禍を原因とした利用控えがまだまだ続いているが、夜間の外出が難しくなった団体に、昼間の時間を提案するなど、利用率の向上に努めている。 ・利用者が高齢者に偏っているので、他の世代への情報発信を行う必要がある。 ・経年劣化による施設の不具合も計画的に修繕等を行い、利便性の向上や経費削減に努めている。(照明のLED化、扉の修繕等)		総合評価 B
		平均点 3.0

※4点満点



※端数処理のため、評価結果(A~D)の割合の合計が100%にならない場合があります。